

東大阪に根付いて50年以上。

— 開発主導型機能部品メーカー —

株式会社 SKB



- きらり快適ものづくり -

東大阪に社屋を構えて50年以上になります。「ものづくり」のDNAを誇りに、デジタルから超アナログの職人技を持つ協力工場とともに、ものづくりのプロフェッショナルとして挑戦を続ける開発主導型機能部品メーカーSKB。強みであるアイデア発想力を礎に、暮らしを快適にする「ゆたかなカナモノ」を創造し、お客様の要望に応じています。代表取締役社長の伊藤博之氏にお話を伺いました。

金物卸商からものづくり業への転換

弊社は1970年に先代の伊藤嘉告己が金物卸商から個人創業し、翌年、新関西ベアリング株式会社を設立しました。先代の前事業は卸売業でしたが、「これからは、ものづくり」という強い思いから、事務機器用のデスクローラー、戸車、さらにはアルミサッシ用機能金物の設計・製造・販売を行うようになりました。

現在は製品の企画開発や設計、製造までをODM・OEMからオリジナル商品開発まで手がけ、弊社で開発したものを様々な工作機械や技術を持つ協力工場と協働し、数千点もの商品を展開しています。2006年には社名を株式会社SKBに変更し、シンボルマークを一新しました。

幅広い用途の機能部品と装置の開発

弊社のお客様は主に建材メーカー様ですが、取り扱う商品点数も多く、大中ロットから特注小ロットにも対応しています。売り上げの主力はODM・OEM商品の継続注文ですが、お客様の競争が激しく、商品のマイナーチェンジやリニューアルに合わせて共同開発や設計コンペにも参加しています。

先代社長が特許係争の経験をもとに、事業を守るために知財を重視しており、特許庁への申請件数は450件以上に達しています。特許庁から早期審査の指名を受けることもあり、住宅やビル建材から産業機器用、鉄道車両用まで、幅広い用途の機能部品や装置を開発しています。

特殊分野への挑戦

例えば、新幹線や鉄道車両の金具類の開発では、超高速運転での安全性に空気抵抗軽減や騒音対策

などをクリアする設計が求められました。トライ&エラーを重ね、お客様の要求を見事に解決し、現在も新作車両に採用されています。

こうして産業機器や輸送機関連にも及んでいますが、売り上げの多くはやはり住宅・ビル建材用機能金物です。しかし少子化が進み、住宅事業の競争は激しくなっています。ここ十数年はお客様、競合メーカー各社が業界の垣根を越え、非住宅の福祉介護施設や病院などの扉の自閉式装置を取り扱うようになりました。



弊社オリジナル商品のルームクローザーは引戸が自然に閉まるユニットで、戸締め残り10cmほどの距離でブレーキがかかり、ゆっくりと閉じることで手挟み防止、跳ね返り防止と静音を実現しています。レール内部に機構を内蔵した商品は、業界初のコンパクトさ、施工性の良さ、デザイン性で、多くのメーカーに採用されています。

地域貢献と福利厚生「やまぶき保育園」

少子化の話が出ましたが、弊社では企業主導型の「やまぶき保育園」を運営しています。2020年に本社を、2021年に工場を建て替えたときに、念願であった保育園をつくりました。待機児童の数が多



会社ホームページへリンクします



代表取締役社長 伊藤 博之 氏

株式会社 SKB

事業内容：建築金物等開発設計製造販売
 本 社：大阪府東大阪市御厨 1-5-3
 創 業：1970(昭和 45)年
 従業員数：92 名

会社外観写真 ▶

右：本社
 左：本社工場、保育園



◀ 公式キャラクター
 「ぱるち」
 LINE スタンプ販売中！

い時期が重なり、思うように働くことができない社員が多く、それを解消したいという思いがありました。

ただ、時代背景もあり、実はあまり弊社社員は活用できていません。政府主導で育児休業の取得が進められるようになったことで、弊社でも女性は2017年以降100%取得、男性も2020年以降は100%取得しています。それにより0～2歳児対象の保育園に入園することが少なくなっています。しかし企業主導型ですので、近隣にお住いの方や、近隣の会社にお勤めの方にご利用いただいています。安心して預けて、安心して働ける環境を作れるよう運営しています。

ものづくりプロを育てる研修制度

弊社の特徴的な取り組みとして、新入社員の8か月研修があります。入社してから8か月間、すべての部署での研修や座学、協力工場の現場を通じて設計やものづくりの基本を学びます。配属前にやりたい仕事を想像できるほか、多くの人と関わることになるので、コミュニケーションを取りやすくなります。その研修を取りまとめるのが「人財育成ルーム」です。インターンシップなどの発掘、採用から教育までを担う長期的なプロジェクトチームで、各部署からメンバーを招集し活動しています。

こうして採用された新入社員は、入社3年目までの若手メンバーが集まる「おもてなしルーム」で活動しています。「企画・段取り・おもてなしの心を育てる」ことを目的として、イベントの企画や運営を担当しており、月刊社内報「SKB Summary」の編集メンバーでもあります。

デザイン・建築の学び

社内ではほかにも有志が参加するデザイン・建築を学ぶ「ツール・ド・デザイン」もあります。デザイン顧問や社屋を設計した建築士を講師に招き、建築構造の勉強や著名な建築家の建物を探訪し、座学と実際に観て、触れて、感じる取り組みです。一例として、安藤忠雄氏設計の兵庫県立美術館とフランク・ロイド・ライト氏設計のヨドコウ迎賓館を訪れ、現代建築と古建築の対比を楽しみながら感性を磨き、新商品企画のヒントを探る取り組みを2009年から続けています。その努力もあり、TOATO A(室内床用あたり)はグッドデザイン賞を受賞しました。



TOATO A(室内床用あたり)

企業理念

先代の「できないものはない、やらないものはない」という信念と社是とした「気配り」と「人財」を踏襲、社員の幸せと成長を大切に SKBCREDO に「企業理念」の3本柱と「品質理念」の3つのシンを明記し、これからもお客様の要望に応える「ゆたかなカナモノ」を創造していきます。

<企業理念>

存在意義：企業の使命と社会との約束
 経営姿勢：企業の価値観と目標
 行動規範：従業員の心構えと行動

<品質理念>

真の品質を知る
 信の品質を創る
 心の品質を尽す

—貴重なお話をいただき、ありがとうございました